

本チェックシートでは、全11問に回答するだけで自社の局地的豪雨における気象情報の活用状況を数値化し、短時間で課題把握ができます。

より詳しい解説は「**局地的豪雨に備える！気象情報の活用術ガイドブック**」にも記載しておりますので、合わせてご覧ください。

◆**回答結果を元に採点し、対策を検討しましょう！**

診断結果	解説
<p>「天候の把握」 チェックが4つ以上</p>	<p>突然の大雨が発生した場合、現場での人的被害につながる可能性が高くなっています。 また、作業計画の遅延など多方面で大きな被害が発生する可能性があります。 「気象情報の活用術ガイドブック」には、雨の危険とどのように向き合えば被害を抑えることができるのか、現場のご担当者様が知っておいてほしいポイントをまとめているので、ぜひ一度ご覧ください。</p>
<p>「情報収集」が 1つでも当てはまる</p>	<p>近年、大雨による被害が増加していますが、早めに日頃から気象観測・予測情報を収集し、さまざまな視点から検証することで、作業判断や現地作業員への伝達を迅速に行い、被害を最小限に抑えることができます。 「気象情報の活用術ガイドブック」には、迅速な対応のために有効な気象情報の収集方法についてわかりやすくポイントを整理して記載していますので、ぜひご利用ください。</p>

『**局地的豪雨に備える！気象情報の活用術**』ガイドブックでは、気象情報を活用した判断の推奨する流れをご紹介します。現場の安全性向上や作業判断にぜひ、お役立てください。

URL・QRコードどちらかも無料ダウンロードできます！

こちらをクリック↓

[ZEROSAI 『局地的豪雨に備える！気象情報の活用術』ガイドブック](#)



診断編

診断項目	No	チェック欄	項目	課題(把握できていないこと)	気象情報の活用ガイドブック該当箇所
天候の把握	1		線状降水帯などの急激な大雨の予兆とは、どのようなものかよく分からない	天候の急変に関する知識	P6：線状降水帯だけではない？局地的な集中豪雨発生のメカニズム
	2		現場の向こう1週間の天候がどうなるか、すぐ分かるようになっていない、またはそのようなツール(アプリなど)は使用していない	現場の今後の天気	P11：5つの気象情報チェックポイント①向こう1週間で雨が降る日・時間帯はないか？
	3		現場付近に発令される大雨や線状降水帯に関する注意報・警報を日頃把握していない	現場周辺の注意報・警報	P12: 5つの気象情報チェックポイント②雨に関して注意報・警報はでていないか？ P13：5つの気象情報チェックポイント③線状降水帯に関する注意情報は発生していないか？
	4		大雨に警戒したいが、どの時間帯にどのくらい降るのかを日頃から把握していない。またはそのようなツール(アプリなど)は使用していない	急激な雨の降る時間帯	P14: 5つの気象情報チェックポイント④降雨予想の時間帯、1時間毎に雨はどのくらい降るのか？
	5		雨雲レーダーを見る習慣がない	雨雲の接近状況	P15: 5つの気象情報チェックポイント⑤現場基準以上の雨を降らせる恐れのある強い降水域が現場に接近していないかどうか
	6		降り始めから十数分で局地的な豪雨が発生したことによる、現場における重大事故の事例について知りたい	過去の急激な大雨の事例	P4：局地的な集中豪雨による被害事例

診断項目	No	チェック欄	項目	課題(把握できていないこと)	気象情報の活用ガイドブック該当箇所
情報収集	1		気象情報を見る習慣があまりない	気象情報収集のポイント	P9：気象情報収集の全体像
	2		気象情報の収集にあたって、気をつけるべきポイントがわからない		
	3		気象情報を日々どのように収集していけばいいのかわからない		
	4		気象情報はいつも同じサイトやテレビで収集している	気象情報収集のツール	P10以降(気象庁のHPがメイン)
	5		大雨発生時などの注意喚起で、現場との情報共有に時間がかかってしまうことが多い	効率的な情報共有	直接の記載なし

ご担当のみなさま、まずは弊社にお問合せください。

気象専門家とシステム構築のエキスパートが、
気象の予測・分析・防災など、豪雨被害防止のお手伝い、ご提案をいたします。

お問合せ先



〒802-0979 福岡県北九州市小倉南区徳力新町2丁目8番11号

TEL 093-965-1033

FAX 093-965-1055

MAIL info@sysmet.co.jp